平成３０年度

成田市中学生議会

会議録

平成３０年８月２０日（月）開会

成田市

成田市教育委員会

目　　次

●中学生議会質問一覧　・・・・・・・2

●議事日程　・・・・・・・3

●出席した中学生議員　・・・・・・・5

●職務のため出席した中学生議会事務局職員　・・・・・・・5

●説明のため出席した者　・・・・・・・6

●議事　◎開会および開議の宣言　・・・・・・・7

◎議長選挙　・・・・・・・7

◎市長あいさつ　・・・・・・・8

◎会期の決定　・・・・・・・9

◎会議録署名議員の指名　・・・・・・・10

◎代表質問（各校質疑応答）　・・・・・・・10

①中台中学校　・・・・・・・10

②玉造中学校　・・・・・・・14

③成田高等学校付属中学校　・・・・・・・17

④下総みどり学園　・・・・・・・20

⑤遠山中学校　・・・・・・・23

◎再開および議長の交代　・・・・・・・27

⑥久住中学校　・・・・・・・28

⑦西 中 学 校　・・・・・・・31

⑧吾妻中学校　・・・・・・・34

⑨成田中学校　・・・・・・・37

⑩公津の杜中学校　・・・・・・・39

⑪大栄中学校　・・・・・・・43

◎市長の講評　・・・・・・・46

◎議会の閉会　・・・・・・・47

平成30年度成田市中学生議会質問一覧（発言順）

1. 中　台　中　学　校・・・　高齢者が安心して生活するための政策について

2. 玉　造　中　学　校・・・　公共施設の清掃・管理について

3. 成田高等学校付属中学校・・・　成田を訪れる観光客が快適に過ごせる環境づくりについて

4. 下総みどり学園・・・　市民も観光客も楽しむことのできるイベントの実施について

5. 遠　山　中　学　校・・・　うなりくんの有効活用と経済効果について

6. 久　住　中　学　校・・・　放課後や休日に子ども達が自主活動できる施設の増設・新設について

7. 西　中　学　校・・・　東京オリンピック・パラリンピック開催における成田市の取り組みについて

8. 吾　妻　中　学　校・・・　成田市の空き家増加への対策について

9. 成　田　中　学　校・・・　成田市の児童・生徒の登下校時の安全対策について

10. 公津の杜中学校・・・　成田空港の機能強化について

11. 大　栄　中　学　校・・・　大栄地区の小中一貫校開校に伴い閉校となる小学校跡地の活用について

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会臨時議長

記

議事日程第１号

平成 30 年 8 月 20 日　午後 1 時 30 分開議

第１　議長選挙

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会議長

記

議事日程第１号の２

第２　会期の決定

第３　会議録署名議員の指名

第４　代表質問

○出席した中学生議員（24 名）

川本　咲　議員	中台中学校２年生	小澤　日彩　議員	中台中学校２年生
村嶋　理子　議員	玉造中学校３年生	土肥　優大　議員	玉造中学校３年生
菅谷　航太　議員	成田高等学校 付属中学校２年生	石川　武　議員	成田高等学校 付属中学校２年生
五十嵐　渚彩　議員	成田高等学校 付属中学校２年生	竹能　世那　議員	下総みどり学園 ９年生
石田　玲亜　議員	下総みどり学園 ９年生	木内　碧羽　議員	遠山中学校３年生
花里　海喜　議員	遠山中学校２年生	中村　海晴　議員	遠山中学校３年生
山口　夏葵　議員	久住中学校２年生	鈴木　初音　議員	久住中学校２年生
髙橋　英里沙　議員	西中学校３年生	栗原　悠斗　議員	西中学校３年生
菅野　千遥　議員	吾妻中学校３年生	多田　登惟　議員	吾妻中学校３年生
加藤　真桜　議員	成田中学校３年生	鈴木　七彩　議員	成田中学校２年生
山中　萌百　議員	公津の杜中学校 ２年生	上林　万葉　議員	公津の杜中学校 ２年生
米山　晃平　議員	大栄中学校３年生	髙橋　僚　議員	大栄中学校３年生

○欠席した中学生議員（なし）

○職務のため出席した中学生議会事務局職員

市民協働課長	石　井　利　明	市民協働課 市民相談室長	瀬　尾　宜　志
議会事務局副主幹	細　田　巨　輝	議会事務局主査	菅　原　拓　実

○説明のため出席した者

成田市長	小泉一成	副市長	関根賢次
副市長	小幡章博	教育長	関川義雄
企画政策部長	宮田洋一	総務部長	野村弘充
財政部長	郡司光貴	空港部長	山田明彦
空港部参事	森田巌	シティプロモーション部長	伊藤和信
シティプロモーション部参事	大矢知良	市民生活部長	伊藤昭夫
環境部長	石井益実	福祉部長	高田順一
健康こども部長	菱木澄子	経済部長	都祭幸也
経済部参事	五十嵐昭夫	土木部長	後藤行也
都市部長	三橋道男	企画政策課長	米本文雄
秘書課長	松島真弓	総務課長（選管書記長）	岩沢宏樹
財政課長	篠塚岳史	会計管理者	伊藤幸範
水道部長	後藤勝	教育部長	宮﨑由紀男
教育部参事	神山金男	消防長	大谷昌利
消防本部次長	大野勝也	監査委員事務局局長	須賀澤賢治
農業委員会事務局局長	荻原幸夫		

◎開会および開議の宣言

〔開始のブザー〕

○臨時議長（市民協働課長）　私、市民協働課の石井と申します。議長が選出されるまでの間、私が臨時にその職務を行います。ただいまの出席議員数は 24 名であります。定足数に達しましたので、これより「平成 30 年度　成田市中学生議会」を開会いたします。

◎議長選挙

○臨時議長（市民協働課長）　日程第 1、議長選挙を行います。

中学生議会では、前半と後半でそれぞれ 1 名の議長に議事進行を行っていただきますので、2 名の議長を選出します。投票用紙を配付いたさせます。

〔投票用紙配付〕

配付漏れはありませんか。配付漏れなしと認めます。

投票箱を検めさせます。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載のうえ、点呼に応じて順次投票を願います。点呼を命じます。

〔点呼〕

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

これより開票を行います。立会人に玉造中学校、村嶋理子議員、下総みどり学園、石

田玲亜議員を指名いたします。両議員の立ち会いを願います。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数 24 票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票	24 票		
無効投票	0 票		
有効投票中	成田高等学校付属中学校	五十嵐　渚彩　議員	12 票
	遠山中学校	中村　海晴　議員	12 票

以上のとおりであります。

よって、成田高等学校付属中学校、五十嵐渚彩議員並びに遠山中学校、中村海晴議員が議長に当選いたしました。当選されました五十嵐議員と中村議員が議場におられますので、本席より当選の告知をいたします。ここで議長を交代いたします。前半は、成田高等学校付属中学校　五十嵐議長にお願いいたします。五十嵐議長、議長席にお着き願います。

以上をもちまして、臨時議長の職務は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

（午後　1 時 39 分）

○議長（五十嵐渚彩議員）　成田高等学校付属中学校 2 年の五十嵐渚彩です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。ただいま中学生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして誠にありがとうございます。このような大役を経験できることを誇りに思い、皆様のお役に立つことができるよう一生懸命務めさせていただきます。スムーズな議事の進行を図っていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

（午後　1 時 40 分）

◎市長あいさつ

○議長（五十嵐渚彩議員）　議事に入る前に、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　本日ここに、「平成30年度成田市中学生議会」を招集したところ、貴重な夏休み期間にも関わらず、中学生議員の皆様方にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本年も市内11の中学校から、24名の代表生徒の皆さんにお集まりいただきました。この中学生議会は、開かれた市政の一環として中学生の皆さんから直接市政に対する意見や要望を述べてもらい、今後の市政運営に反映していくために開催しているものでございまして、今回で15回目となります。

皆さんは、勉強や部活動で日々忙しい時間を過ごしていることもあり、なかなか市政に対して関心を持つ機会は少ないと思います。しかし、ご存じのとおり選挙権年齢が18歳以上と引き下げられ、数年後には皆さんも有権者となります。この中学生議会をきっかけに、市政をより身近なものとして感じていただきたいと思います。

限られた時間ではございますが、将来の成田・日本を背負っていかれる皆さんから、幅広いご意見をお伺いしたいと思いますので、中学校の代表として、自信をもって質問をしていただきたいと思います。

結びに、本日の中学生議会が、皆さんにとりまして、実り多きものとなりますよう心から願いまして、開会にあたりましての挨拶といたします。

（午後　1時42分）

◎会期の決定

○議長（五十嵐渚彩議員）　日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今議会の会期は、本日1日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔各議員より「異議なし」の発声あり〕

○議長（五十嵐渚彩議員）　ご異議なしと認めます。よって会期は、本日１日間と決しました。

（午後　１時 42 分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（五十嵐渚彩議員）　日程第 3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、中台中学校、川本咲議員、吾妻中学校、菅野千遥議員を指名いたします。

（午後　１時 43 分）

◎代表質問

○議長（五十嵐渚彩議員）　日程第 4、各中学校からの代表質問を行います。

●中台中学校

○議長（五十嵐渚彩議員）　初めに、中台中学校、川本咲議員、並びに小澤日彩議員。

〔中台中学校　議員２名　登壇〕

○川本咲議員　私は、中台中学校２年の川本咲です。成田市が行っているオンデマンド交通についてお伺いいたします。

私は、普段から塾へ行くときにバスなどの公共交通機関を利用しています。その中で、タクシーで高齢者の方々が行きたい場所へ行けるオンデマンド交通はとてもよい政策だと思います。

そこで、お伺いいたします。現在は、少子高齢化の影響で高齢者の方々の人口が急増

しており、成田市も例外ではありません。そのため、オンデマンド交通の利用者も年々増えています。そのような中で、利用したい時に予約が取れないことがあると聞きますが、その点について成田市ではどのように対策をお考えなのか、回答願います。以上で質問を終わりにします。

○議長（五十嵐渚彩議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　川本咲議員の、オンデマンド交通についてのご質問にお答えいたします。

まず、本市のオンデマンド交通は、民間タクシー事業者を活用し、利用者の希望に応じながら、乗車料金を安く抑え、出来るだけ多くの方にご利用いただきたく「乗合型」の運行方式を採用した、高齢者向けの移送サービスとなっております。

少子高齢化が進む中、70 歳以上の高齢者の外出支援策として、将来にわたって継続的に少ない負担で多くの方が利用できる交通システムを確立するために、平成 23 年 12 月より、交通不便地区を対象に実証実験として運行を開始し、現在は対象を市内全域に拡大しております。

実際に利用している方からは、「家族などに気兼ねせず、外出が出来るようになった。」「公共交通事情の厳しい地域に住み交通費が嵩んでいたが、利用することで経済的に助かっている。」などの声をいただいております。

なお、運行開始以来、利用される方が年々増加し、特に通院でのご利用が多い時間帯などは、同時に予約が集中して、ご希望の時間でのご利用が難しい場合がございます。

市の対策といたしましては、そのような現状を踏まえ、本年 4 月から、運行車両台数を 1 台増やして 7 台とすることで、利便性の向上を図っております。

また、オンデマンド交通の特徴として、一般的なタクシー利用とは異なり、複数の予約者の希望に応じて車両のルートが決まってくるため、目的地までを最短ルートで運行することが出来ず、待ち時間が長くなってしまう傾向があり、お急ぎの際には、ご希望の時間でのご利用が難しい場合がございます。

早めにご予約をいただくことで、より希望に添ったご利用が可能となることから、予約は利用の 7 日前から受け付けておりますので、なるべくお早めの予約について、利用者のご協力をお願いしていきたいと考えております。

一方で、より多くの方にご利用いただけるよう、利用を希望する 30 分前まで予約可能としておりますので、外出の時間に余裕のある場合は、ぜひご活用いただきたいと思います。

今後も、利用者の方からのご意見も参考にしながら、より多くの方が利用しやすいサービスとなるよう、実証実験結果の検証を行ってまいります。

○議長（五十嵐渚彩議員）　中台中学校、小澤議員。

〔中台中学校　小澤議員　自席で起立〕

○小澤日彩議員　私は、中台中学校 2 年の小澤日彩です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

スマートホンを操作しながら、また、イヤホンで音楽を聴きながら自転車を運転して、歩行者と衝突し、ご高齢の方が、けがなどをされるニュースを見ました。また通学時、通勤する自動車などがスピードを出して走行していることもあり、危険を感じることがあります。

高齢者をはじめとして、歩行者が安心して道路を通行できるように歩道の整備を進めるとともに、自転車や自動車の運転マナーの向上が必要であると考えますが、市はどのように考えていますか。

また、自転車の通行場所があいまいになっていることも、事故が起こりやすい原因であるとも考えますが、市としての対策やお考えがあれば併せてお答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　伊藤市民生活部長。

〔市民生活部長　伊藤昭夫　自席で起立〕

○市民生活部長（伊藤昭夫）　小澤日彩議員の、歩道の整備、自転車・自動車の運転マナーの向上についてのご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のように、歩行者が安心して道路を通行できるような歩道の整備や、自転

車・自動車の運転マナーを向上させることは、市としても大変重要なことと認識しております。

歩道の整備につきましては、整備可能な道路には出来る限りの歩道設置に努めておりますが、昔からの市街地などでは、道路に建物や塀が近接しているため、整備ができない場所も多くあります。そのような場所では、路面の表示を工夫するなど、歩行者が安全に安心して利用できるような配慮に努めております。また、自転車・自動車の運転マナーの向上については､マナーを守らない危険な走行が社会問題となっておりますので、本市としましても、警察など関係機関と連携し、交通安全意識を向上させる啓発活動に努めているところです。

しかしながら、交通事故は、これらの対策を行ってもなかなか減らない現状であります。

このようなことから、警察や地元自治会と連携し、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的に、三里塚御料と三里塚の一部区域においては、通行する車両の最高速度を時速 30 キロメートルに規制するとともに、その他の安全対策を組み合わせた「ゾーン 30」と呼ばれる交通規制の取り組みを本年 1 月から実施いたしました。

また、自転車の通行に関する安全対策として、平成 26 年度に、JR 成田駅西口から成田警察署前までの歩道及び車道に自転車の通行帯を青色で着色し、通行区分を明確にする取り組みを試験的に行いました。その後の調査では、事故件数やマナーの面で一定の効果が確認されており、平成 28 年度には、自転車通行空間に関する整備方針を定めるとともに、ゾーン 30 の区域内や歩道のない市街地の一部でも同様の取り組みを実施しております。

今後も、これらの道路上の安全対策を計画的に実施するとともに、交通安全意識を向上させる啓発活動のさらなる強化に努めてまいります。

○議長（五十嵐渚彩議員）　中台中学校、小澤議員。

〔中台中学校　小澤議員　自席で起立〕

○小澤日彩議員　ご答弁ありがとうございました。私は、小さいころから成田市に住んでいて、成田市がとても好きです。また、学校生活もとても充実していて、毎日楽しく過ごせています。しかし事故というものは突然起きてしまうものです。ですが少し気を付けたり意識するだけで防げる事故もあると思います。なので、私にもできることがあったら成田市に貢献できるようにしようと思います。また、成田市に限らず全国で高齢化が進んでいます。困っていることがあったらすぐに助けられる優しさをもって毎日生活していきたいと思います。また、高齢者へのボランティアにも積極的に参加して、少しでも人の役に立てるようにしたいです。これで中台中学校からの質問を終わりにします。

（午後　1時53分）

●玉造中学校

○議長（五十嵐渚彩議員）　次に、玉造中学校、村嶋理子議員並びに土肥優大議員。

〔玉造中学校　議員2名　登壇〕

○村嶋理子議員　私は、玉造中学校3年の村嶋理子です。公衆トイレの環境と設備についてお伺いいたします。

私は、部活動の大会などで普段から中台運動公園を利用することが多く、その際に公衆トイレの汚れやごみが目立ちます。また、中台運動公園に限らず他の公衆トイレの汚れやごみも気になります。汚れやごみがあると良い気持ちはしません。現在、成田市では公衆トイレの環境と設備の管理についてどのように考えて対策をとっているのか、お答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　村嶋理子議員の、公衆トイレの環境と設備の管理についてのご質問についてお答えいたします。

まず、市が管理する公園のトイレについてでありますが、便器などの清掃や紙の補充、

トイレ内の破損の確認などを清掃業者に委託し、毎週１回、年間を通じて実施しているところであります。

また、多くの大会やイベントなどが行われる中台運動公園などにつきましては、その利用状況により清掃の回数を増やすなどの対応をしております。

しかしながら、清掃直後であっても使い方によっては汚れていることもありますので、その際には、適宜対応してまいります。

なお、中台運動公園及び大谷津運動公園の公衆トイレにつきましては、老朽化が進んでいることから、トイレの洋式化も含めて建て替えを計画しており、また、その他の公園につきましても、バリアフリー法に基づき、車椅子での利用にも対応できる多目的トイレの設置や、洋式化への改修を順次進めているところであります。

次に、市内の駅前公衆トイレについてでありますが、毎日清掃作業を実施するとともに、職員が定期的に見回りを行い、衛生面や、設備の状態を確認し、不具合を発見した際には、直ちに修繕等の手配を行い公衆トイレの機能維持を図っております。

今後も公衆トイレが衛生的で美観に配慮した施設となるよう、適切な管理に努めてまいります。

○議長（五十嵐渚彩議員）　玉造中学校、土肥議員。

〔玉造中学校　土肥議員　自席で起立〕

○土肥優大議員　私は、玉造中学校３年の土肥優大です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

市内には、自分のごみは、持ち帰って公園をきれいにしようという考えから、ごみ箱を設置していない公園が多いものと思いますが、ごみ箱がないために、そのまま捨てられることもあり、捨てられたごみの清掃をする費用を市が負担している状況があります。

そこで、お伺いいたします。

公園の環境をより良くするために、ごみ箱を設置又は増設することも有効ではないかと考えますが、これに対する費用対効果などを含めて市としてどのように考えているか、お答えください。

○議長（五十嵐渚彩議員）　三橋都市部長。

〔都市部長　三橋道男　自席で起立〕

○都市部長（三橋道男）　土肥優大議員の、公園へのごみ箱の設置についてのご質問にお答えいたします。

本市の公園の管理では、定期的に園内の清掃を実施し、市民の皆様に気持ちよく公園をご利用いただけるよう努めております。

また、議員のおっしゃるとおり、ごみは公園利用者ご自身が持ち帰っていただくことを利用のルールとしておりまして、園内の注意看板や市のホームページにより市民の皆様に周知しているところでございます。

公園内のごみの問題は、利用者のモラルによるところが非常に大きく、本市としましても対応に苦慮しているところでございますが、過去に、公園内に設置されたごみ箱に家庭ごみが持ち込まれたり、それをカラスや猫などが、ごみを散乱させるなど管理上支障となったことから、現在、原則的には、どの公園においてもごみ箱は撤去しております。繰り返しになりますが、公園の良好な環境を維持するためには、ごみは公園利用者自身が持ち帰っていただくことが大切であると考えておりますので、新たなごみ箱の設置の予定はございません。

今後も引き続き、公園利用者の方へのマナー喚起を図ってまいりたいと考えております。

○議長（五十嵐渚彩議員）　玉造中学校、土肥議員。

〔玉造中学校　土肥議員　自席で起立〕

○土肥優大議員　ご答弁ありがとうございました。私は、市内の公園の利用の際のルールなどに気を配っていこうと思いました。なぜなら、ご答弁にもあったように市が実施する定期的な清掃だけでは賄えない部分があると思うからです。そういった部分を少しでも個人の意識などで補っていこうと思います。また、今日考えたことをまわりの友達などにも発信していこうと思います。これで、玉造中学校からの質問を終わりにします。

（午後　2時00分）

●成田高等学校付属中学校

○議長（五十嵐渚彩議員）　次に、成田高等学校付属中学校、菅谷航太議員、並びに石川武議員。

〔成田高等学校付属中学校　議員２名　登壇〕

○菅谷航太議員　私は、成田高等学校付属中学校２年の菅谷航太です。成田を訪れる観光客に対する観光案内についてお伺いいたします。

私は、通学路や駅で道に迷っている外国の方を見かけることが度々あり、成田山新勝寺やショッピングセンターへの道を尋ねられたこともありました。また、学校の友人からも同様の話をよく聞きます。外国の方の中には初めて成田に来る人も多く、平日などは人通りが少なく誰かに尋ねることのできない状態が多いと感じております。成田市のホームページを見たところ、JR 成田駅に観光案内所が設置されているとありました。しかし、私自身は京成電車で通学していることもあり、今までこのような案内所があることには気づきませんでした。そして、その案内所の存在を知らない外国の方や京成電鉄を利用して来られる方では、利用しにくいのではないかと感じました。そこでお伺いします。成田を訪れる外国人の方や、観光客のために、観光案内所を利用しやすくするため、案内表示の設置や、ボランティアなどによる観光案内が必要と考えますが、市としてどのような対策を考えているかお答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　菅谷航太議員の成田を訪れる観光客に対する観光案内についてのご質問にお答えいたします。

本市では、成田山新勝寺と宗吾霊堂を擁する「門前町」として、また「国際空港のあるまち」として、年間一千万人を超える観光客を迎えており、この国内外からのお客様に対し、観光施設や交通機関、宿泊などの各種観光情報を提供するため、JR 成田駅前に成田市観光案内所を設置しております。

この案内所の入口には、案内施設であることが誰にでもわかるように、国際規格に適

合したピクトグラムなどで表示するほか、駅前などの主要な場所に設置している観光案内看板には、観光案内所の位置を多言語で表示しております。また、本市の観光情報を扱う成田市観光協会ホームページ「FEEL 成田」でも、観光案内所について多言語で掲載しております。更に、JR 成田駅や京成成田駅においても、独自に様々なご案内をしていただいているところであります。

しかしながら、駅で迷っている外国人を見かけることや観光案内所の場所がわかりにくいとのことから、まずは JR 成田駅や京成成田駅と連携しながら、観光案内所へ誘導する案内看板を駅に設置するなどの対応をしてまいりたいと考えております。

次に、成田を訪れる方へのボランティアによる観光案内についてでありますが、成田山信徒会館内におきまして、「成田ボランティアガイドの会」が成田の名所や旧跡をボランティアスタッフにより案内しており、こちらにつきましても「FEEL 成田」に掲載しております。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおきましても、会場周辺の主要駅や空港で交通や観光の案内を行う「都市ボランティア」が千葉県により配置されることになっており、本市も配置の対象となるため、更に手厚い案内を提供できると考えております。

今後も、観光客の皆様への情報提供に努め、快適に過ごしていただけるよう取り組んでまいります。

○議長（五十嵐渚彩議員）　成田高等学校付属中学校、石川議員。

〔成田高等学校付属中学校　石川議員　自席で起立〕

○石川武議員　私は、成田高等学校付属中学校 2 年、石川武です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、今後の成田市には観光客や以前よりお住いの方々が快適に過ごせるよう市内の美化が必要不可欠だと考えております。そのためには、市の花壇や並木の手入れ、ごみのポイ捨てを防止するような対策が必要であると考えております。そこで市としてどのように考えているかお答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　石井環境部長。

〔環境部長　石井益実　自席で起立〕

○環境部長（石井益実）　石川武議員の、市内の美化についてのご質問にお答えいたします。まず、花壇についてでありますが、本市では、緑化推進事業の一環として、また、本市を訪れる観光客の皆様を気持ちよくお迎えするために、JR 成田駅及び京成成田駅の周辺や、駅前広場から国道 51 号へ通じる道路などに設置された花壇において、年 4 回の花の植え替えや、年間を通しての草取り・水やりなどの作業を実施しており、合わせて、道路照明の柱を利用して花のバスケットを吊り下げるなど、街に彩を添えております。

また、並木の手入れにつきましては、市の管理する街路樹は、樹木の種類によって剪定の方法や時期が異なることから、樹木の種類ごとに適切な剪定を行うことで、年間を通じて快適な道路環境を保てるよう、適正な管理に努めております。

次に、ごみのポイ捨て防止の対策についてでありますが、本市では、国際交流都市、観光都市としての景観を保全するため、空き缶や吸い殻などを投げ捨てる行為、いわゆるポイ捨ての防止を目的として、平成 9 年に、「成田市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例」を施行し、広報紙やホームページなどにおいて、市民、事業者、本市を訪れる方に対して、ポイ捨てをせず、ごみは持ち帰る意識を持っていただくよう周知・啓発を図っているところであります。

具体的な取り組みといたしましては、毎月 1 回、商工会議所、航空会社、観光協会、商店街などのご協力をいただき、JR 成田駅や京成成田駅周辺の駅前クリーン運動に取り組んでいるほか、市内各地で行われている環境美化運動を年 3 回、空港に通じる道路周辺で空港周辺道路美化活動を年 2 回行っております。

本市といたしましても、今後も引き続き、市民の皆様と協力し、美化運動に努めてまいりますが、議員をはじめ、市民の皆様の地域をきれいにしようと思う気持ちがいちばん大切なことでありますので、今後も環境美化への取り組みにご協力をお願いいたします。

○議長（五十嵐渚彩議員）　成田高等学校付属中学校、石川議員。

〔成田高等学校付属中学校　石川議員　自席で起立〕

○石川武議員　ご答弁ありがとうございました。私は、ここ成田のまちを豊かな文化と歴史を持った素晴らしいまちだと考えております。また、より多くの人にこのまちの魅力を知っていただき、それを存分に楽しんでいただきたいと思います。ですので、これからもこのまちをより良くする市政に期待しております。この度は貴重な機会をありがとうございました。これで成田高等学校付属中学校からの質問を終わりにします。

（午後　2時10分）

●下総みどり学園

○議長（五十嵐渚彩議員）　次に、下総みどり学園、竹能世那議員、並びに石田玲亜議員。

〔下総みどり学園　議員2名　登壇〕

○竹能世那議員　私は、下総みどり学園9年の竹能世那です。成田市が行っているイベントについてお伺いいたします。

成田市では、様々なイベントを行っています。現在成田市の人口は、約13万人おり、また、成田空港を利用する、他県や外国からの観光客も多いです。その様な中で、市民や多くの観光客が見て楽しめるイベントは多いと感じていますが、市民や観光客なども直接参加することができる、参加型のイベントが少ないと感じます。そこで、現在成田市では、どのような参加型のイベントを行っているのか、また、イベントのPR をどのように行っているのか、お答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　竹能世那議員の、参加型イベントの開催についてのご質問にお答えいたします。

本市では、通年型の観光地を目指し、春の成田太鼓祭、夏の成田祇園祭、秋の成田伝

統芸能まつりや成田弦まつりなど、四季折々のイベントが開催され、一年を通じて多くの観光客が訪れております。

中でも、「成田伝統芸能まつり」は、「徳島の阿波踊り」や「奄美の島唄」などの出演者から、観客が踊りの解説や指導を受けながら、一緒に踊ることができるほか、「江戸の遊び体験コーナー」では、竹とんぼ作りや折り紙、コマ回しといった昔の遊びが体験できるイベントでもあります。

また、成田市観光協会が主催する「成田の梅まつり」では、来園者に甘酒が振舞われるおもてなしや、表千家成田市茶道会による野点が開催され、自由に参加できるほか、梅を鑑賞しての俳句コンテストへの応募も可能であります。

更に、「成田うなぎ祭り」では、スタンプラリーが開催され、期間中に飲食店や土産物店を巡り、楽しみながらスタンプを集め抽選に応募できるほか、成田卸売市場での鰻のつかみ取り体験などもあります。

このほか、「成田市歌舞伎講座」では、「歌舞伎のまち成田」を市内外に発信する取り組みとして、歌舞伎の基本的な解説のほか、仕掛けや小道具を実際に動かしたり、歌舞伎で使用する鼓を鳴らしたりといった体験を取り入れ、歌舞伎と身近に触れ合うことができる参加型の催しとなっております。

また、本市では、子どもから高齢者まで多くの市民がスポーツを楽しみながら、市民同士の交流も図られるよう、様々な参加型のスポーツイベントを実施しております。

具体的には、成田空港周辺の緑豊かな風景を楽しみながら歩く「成田エアポートツーデーマーチ」や、小学生から高齢者まで参加できるマラソン大会である「成田ポップラン大会」などは、毎年、全国から多くの方々に参加いただいております。

また、本市を代表するスポーツイベントである「成田スポーツフェスティバル」では、年齢を問わず誰でも参加できる「玉入れ」や「8 の字跳び」など、多彩な種目を用意しております。更に、「成田ラグビーフェスティバル」では、試合前に日本のトップレベルの選手がプレーするフィールドを開放し、スポーツパークとしてラグビーなどのスポーツ体験ができるほか、「成田市レクリエーション祭」では、世代を超えて、幅広い年

齢の方がユニカールやフォークダンスなどに参加しております。

次に、イベントの PR 方法につきましては、イベントの規模などで異なりますが、ポスター、チラシなどを市内の公共施設や集客施設、首都圏の鉄道の主要駅に掲出するほか、市の広報紙やホームページ、地域情報誌、Web 情報サイト、タウンビジョン、デジタルサイネージへの掲載などを行っております。

また、市外で行われる各種イベントでの本市プロモーション活動においても、ポスター、チラシを活用した PR を行うなど、市内外へ情報を発信し、イベントの周知に努めております。

○議長（五十嵐渚彩議員）　下総みどり学園、石田議員。

〔下総みどり学園　石田議員　自席で起立〕

○石田玲亜議員　私は、下総みどり学園 9 年の石田玲亜です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、今後さらにイベントを盛り上げるためには、若い世代、特に学生の参加が必須であると考えます。そこで私たち中学生でも参加しやすく、例えば、プロなどの選手と一緒にスポーツをして、楽しみながら体を動かせるイベントを企画していただきたいと思っていますが、市としてのお考えをお聞かせください。

○議長（五十嵐渚彩議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　石田玲亜議員の、中学生でも参加できるスポーツイベントの開催についてのご質問にお答えいたします。

先ほど、市長がご答弁申し上げました、本市で開催している「成田スポーツフェスティバル」や「成田エアポートツーデーマーチ」、「成田ポップラン大会」などのスポーツイベントは、中学生の皆様も参加が可能であります。また、市体育協会加盟の地域団体が開催する、例えば「ウォークラリー大会」や「マラソン大会」などの各種スポーツイベントにも参加することができます。

更に、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け、機運の醸成を図り、また、

障がいのある方への理解を深め、共生社会の実現に寄与することを目的に、本年 3 月、パラリンピック競技であり、県内開催競技でもあるパラテコンドー競技の普及啓発イベントを大栄中学校で開催いたしました。このイベントには、全日本テコンドー選手権パラの部第 3 位の実績があり、世界パラテコンドー選手権にも出場経験のある、現役高校生の星野選手をお招きし、実際に中学生がテコンドーを体験いたしました。今年度も、このようなイベントを市内の中学校において実施できるよう、現在検討しております。

他にも、本市は 2020 年東京オリンピックにおけるアメリカ陸上チームの事前キャンプが決定しており、このことがきっかけで、本年 1 月にアメリカとホストタウン事業として、陸上競技のトップアスリートとコーチをお招きし、小中学生を対象とした陸上クリニックを開催するなど、様々な交流を行っております。さらに、5 月には、パラリンピックにおけるアイルランドパラリンピックチームの事前キャンプの受入れが決定しましたことから、アメリカ陸上チームとの交流に加えて、アイルランドパラリンピックチームのトップアスリートやコーチとの交流イベントも検討しております。中学生の皆様にも、この機会に是非積極的に参加し、この交流を通してスポーツの素晴らしさを体感していただきたいと考えております。

○議長（五十嵐渚彩議員）　下総みどり学園、石田議員。

〔下総みどり学園　石田議員　自席で起立〕

○石田玲亜議員　ご答弁ありがとうございました。今回の議会での経験を経て、更に成田市が取り組んでいるイベントに興味が湧きました。これからイベントについて調べてみたり積極的に参加してみたりして、もっと地域に感心を持っていきたいです。これで、下総みどり学園からの質問を終わります。

（午後　2 時 20 分）

●遠山中学校

○議長（五十嵐渚彩議員）　次に、遠山中学校、木内碧羽議員、並びに花里海喜議員。

〔遠山中学校　議員 2 名　登壇〕

○木内碧羽議員　私は、遠山中学校３年の木内碧羽です。成田市の観光キャラクター、「うなりくん」の有効活用についてお伺いいたします。

私は、「うなりくん」が、ゆるキャラグランプリで優勝したことは、大変よろこばしいことだと思っていたのですが、その後の「うなりくん」の PR 活動を見たことがありません。

私は、「うなりくん」が優勝したことで、更に成田を PR できると思います。

そこでお伺いいたします。現在、成田市では「うなりくん」による PR 活動をどのように行っているのか、また、行っているのであればどのような活動なのか、お答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　木内碧羽議員のうなりくんの PR 活動についてのご質問にお答えいたします。

2009 年 11 月に成田市観光キャラクターとして誕生したうなりくんは、市内で開催される各種イベントはもちろんのこと、県内外では、ZOZO マリンスタジアムでの、千葉ロッテマリーンズの選手が成田市のロゴ入りユニフォームで試合を行う「ALL　for CHIBA 成田デー」や、LCC 就航先である函館でのプロモーション、台湾桃園市での台湾ランタンフェスティバルなどのイベントに出演し、本市の観光を PR するとともに、ツイッターやブログ、インスタグラムといった SNS を活用し、成田の魅力を発信しております。こうした PR 活動において、うなりくんは大人気であり、本市の観光振興に大きく貢献しております。

このような中、昨年の「ゆるキャラグランプリ 2017」においては、多くの皆様の応援により第１位を獲得し、成田山表参道で開催した「うなりくん優勝パレード」には、約 5 万人の方にお越しいただきました。また、遠山中学校吹奏楽部の皆さんと一緒に、成田市さくらの山においてファン感謝イベントを開催し、多くの方々から祝福をいただきました。うなりくんの優勝は私も大変嬉しく思っており、今でも応援してくださった皆

様には、感謝の気持ちでいっぱいであります。

更に、このグランプリ獲得を契機として、ゆるキャラバンド「コレちゃんズ」での渋谷ライブデビューや新橋演舞場の初春歌舞伎公演での観光 PR など、新たなファン獲得に向けた取り組みを行うことができました。このような県外イベントへの出演件数は、例年に比べ約 3 倍に増えております。また、アメリカとの交流を目的にホストタウン事業として行われた、オリンピックの金メダリストを招いた陸上クリニックや、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を目的とした「NARITA スポーツツーリズムフェス」において、うなりくんは自ら積極的に競技に参加し、多くのお客様の注目を集めました。そのほか、NHK「旬感ゴトーチ」や、千葉テレビ「熱血 BO-SO TV」、テレビ東京「美の巨人たち」などのメディアへの出演や、成田山開基 1080 年祭の御開帳の期間においては毎日、表参道で多くのお客様をお出迎えするとともに、市川海老蔵丈奉祝参拝での御練りにも参加させていただきました。

観光立市を目指す本市といたしましては、今後も、うなりくんの高い知名度を活用し、県内外でのイベントにおける PR や、SNS による本市の積極的な魅力発信を行うとともに、これまでのうなりくんの活動に限らず新たな挑戦により、更なる観光振興に努めてまいります。

○議長（五十嵐渚彩議員）　遠山中学校、花里議員。

〔遠山中学校　花里議員　自席で起立〕

○花里海喜議員　私は、遠山中学校 2 年の花里海喜です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、市内の店舗などで、うなりくんグッズをよく見かけます。そこで、うなりくんがゆるキャラグランプリで優勝したことで、地域経済にどのような効果があったか、お答え願います。

○議長（五十嵐渚彩議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　花里海喜議員の、うなりくんのゆるキャラ

グランプリ優勝による地域への経済効果についてのご質問にお答えいたします。

まず、グランプリ獲得直後の経済効果の規模や影響度になりますが、「NHK 首都圏ネットワーク」や日本テレビの「ZIP」、「スッキリ」といった数多くのニュースや情報番組、また、10 紙を超える新聞記事、約 40 社のインターネットニュースなど、各メディアで大きく扱っていただきました。

また、参考ではございますが、うなりくんが取り上げられたテレビや新聞記事による効果を広告料に換算いたしますと、本市が把握する中では約 5,800 万円と算出いたしました。関東地域以外でのテレビ放送やインターネットテレビ、雑誌掲載など本市が把握しきれない全国のメディアも含めますと、さらに多くの広告効果があったものと考えております。

更に、うなりくんの優勝祝賀パレードには、市内外より約 5 万人ものファンの皆様にご来場いただいたことから、土産物や飲食などについても経済面の効果があったものと考えられます。

このほか、うなりくんグッズを扱っている関連業者によりますと、グランプリ獲得直後は市内外から例年の 3 倍以上の注文があり、商品の製造が間に合わず、一時在庫切れが発生したほか、小売店では例年の約 2 倍の売り上げになったとのことでございます。

現在は、グランプリ獲得直後と比較すると全体的な売り上げの伸びはございませんが、新たな取引先からの注文は増えており、グランプリ獲得が継続的な新規顧客の拡大に寄与しているものと考えられます。

また、うなりくんのイベントやメディアへの出演依頼は、市内外はもとより海外からも寄せられており、プロモーションの機会の拡大により、本市の様々な経済効果に繋がっているものと考えております。

○議長（五十嵐渚彩議員）　遠山中学校、花里議員。

〔遠山中学校　花里議員　自席で起立〕

○花里海喜議員　ご答弁ありがとうございました。私は、この成田市がうなりくんという人気のあるキャラクターや成田空港という大規模な空港によって、2020 年東京オリン

ピック・パラリンピックに向けて、さらなる発展をすることを心から願っています。そして、私自身が成田市のために何ができるのか、成田市のために頑張っている人をどういう形でサポートしていけば喜んでもらえるのかということを改めて考え直し、成田市民として成田市の発展に関わっていければよいと思っています。これで、遠山中学校からの質問を終わりにします。

（午後　2 時 29 分）

○議長（五十嵐渚彩議員）　ここで、暫時、休憩といたします。

私、五十嵐渚彩による議事進行はここまでとなります。皆さん、ご協力ありがとうございました。

（午後　2 時 29 分）

【休　　憩】

◎再開

〔開始のブザー〕

◎議長の交代

○臨時議長（市民協働課長）　中学生議会を再開するにあたり、議長の交代があります。後半の議長は、遠山中学校、中村海晴議員にお願いいたします。

○議長（中村海晴議員）　申し上げます。これより、成田市中学生議会の議長を務めます、遠山中学校 3 年中村海晴です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。中学

生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして、誠にありがとうございます。私たち中学生にとって、このような機会は滅多にないことなので成田の将来を担う若者の代表として、質問を通じ、私たちも成田のことをより深く知り考える機会としていきましょう。スムーズな議事の進行を図っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

（午後　2時46分）

○議長（中村海晴議員）　再開いたします。代表質問を続けます。

●久住中学校

○議長（中村海晴議員）　久住中学校、山口夏葵議員、並びに鈴木初音議員。

〔久住中学校　議員2名　登壇〕

○山口夏葵議員　私は、遠山中学校2年の山口夏葵です。ボール使用可能な施設の増設・新設についてお伺いいたします。

私は、現在ソフトテニス部に所属しており、普段から校外でもボールを使って練習することが多いです。また、久住中学校にはソフトテニス、バレーボール、野球の3つの運動部があり、どれもボールを使って行う競技です。

しかし、久住や成田市内の公園の多くが、ボールの使用を禁止しています。そのため、放課後や休日に自主練習をしようとしても、練習できる場所がありません。

そこで、お伺いいたします。現在、成田市ではボール使用可能な施設の増設・新設についてどのようにお考えでしょうか、お答え願います。

○議長（中村海晴議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　山口夏葵議員の、ボールが使用可能な施設の増設・新設についてのご質問にお答えいたします。

現在、市が管理する公園は、大小合わせて144か所ありますが、ボールを使った試合

や練習については、多くの公園で、ほかの利用者への安全上の配慮などを理由に禁止しております。

しかしながら、規模が大きい公園には、芝生広場や多目的広場などの広いスペースがあり、自治会のイベントや校外学習など、幅広く利用されており、球技につきましても、グラウンドゴルフやゲートボール、野球やサッカーなどの団体が主に利用しております。

また、団体で利用される場合は、ほかの公園利用者が安全に利用できるかなどを確認するため、公園内行為の許可申請を提出していただき判断しているところであり、公衆の公園の利用に著しい支障を及ぼすことがない場合に許可しているところであります。

ご質問の、ボール使用が可能な施設の増設・新設についてでありますが、本市には、ボールが使用可能な各種スポーツ施設として、中台運動公園を含む 3 か所の運動公園、久住体育館、印東体育館、大栄 B&G 海洋センターなどの有料施設や、北羽鳥多目的広場やスポーツ広場、学校跡地を活用した 4 か所の地区運動施設などの無料施設があり、このうち、遠山スポーツ広場については、市民の皆様の健康増進及び地域におけるスポーツ活動の促進を目的に、現在、拡張整備を進めているところであります。

市といたしましては、各施設の内容をご理解いただいたうえで、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　久住中学校、鈴木議員。

〔久住中学校　鈴木議員　自席で起立〕

○鈴木初音議員　私は、久住中学校 2 年の鈴木初音です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

放課後や休日、部活動だけでは練習時間が足りず、自主練習をしたいという生徒が多くいます。更に、学習面においても、塾以外に学習できる施設が少ないように思います。

私は今後の成田市には、自宅以外でも、子供達が安心して学習のできる施設が必要であると考えておりますが、市としてどのようにお考えか、ご答弁お願いします。

○議長（中村海晴議員）　神山教育部参事。

〔教育部参事　神山金男　自席で起立〕

○教育部参事（神山金男）　鈴木初音議員の自主学習ができる施設についてのご質問にお答えいたします。

現在、学習スペースを提供している主な公共施設といたしましては、公津の杜コミュニティセンター、三里塚コミュニティセンターのほか、中央公民館、下総公民館及び大栄公民館があります。その他の公民館には専用の学習スペースはありませんが、利用予約が入っていない部屋については学習の場として提供することができるようになっております。このように、自主学習としての利用が可能ですので、多くの生徒さんに活用してもらいたいと思います。

また、図書館につきましては、図書館資料を使った調べものをするための席を設置しており、図書館資料を使った自主学習にご利用いただけます。

本市といたしましては、それぞれの施設で行っている取り組みを推進し、自主学習の充実を図ってまいります。

○議長（中村海晴議員）　久住中学校、鈴木議員。

〔久住中学校　鈴木議員　自席で起立〕

○鈴木初音議員　ご回答ありがとうございます。成田市は、私にとって将来の夢につながる大きなきっかけという大きな存在です。昨年、私は少年の翼の一員として、さまざまな経験をさせていただきました。たくさんの事前研修に参加させていただき、ニュージーランドへ行きホームステイをさせていただきました。一年経ったいま思い返すと、それはとても貴重な経験であり、その経験を通して感謝することの大切さを改めて感じました。その経験で海外に行き、笑顔がとても人間にとって大切な物であり世界共通なんだということを感じ、貴重なきっかけとなりました。この何気ない日々の出来事でも笑顔を忘れず感謝の気持ちをもって夢に向かって一生懸命に取り組みたいと思います。これで、久住中学校からの質問を終わりにします。

（午後　2時54分）

●西中学校

○議長（中村海晴議員）　次に、西中学校、髙橋英里沙議員、並びに栗原悠斗議員。

〔西中学校　議員２名　登壇〕

○髙橋英里沙議員　私は、西中学校３年髙橋英里沙です。東京オリンピック・パラリンピック開催における成田市の取り組みについてお伺いいたします。

成田市には空港があるため、東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、成田市を訪れる外国人観光客の増加に伴って公共交通機関を利用する外国人観光客が増加すると考えられます。

そこで、外国人観光客に、公共交通機関の使い方、ルール、マナーをわかりやすく知ってもらうために成田市では、どのような取り組みを考えているか、お答え願います。

○議長（中村海晴議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　髙橋英里沙議員の、外国人観光客への公共交通機関の使い方、ルール、マナーの周知についてのご質問にお答えいたします。

成田空港を擁する本市は、多くの外国人旅行者が訪れる地域であり JR 成田駅前の成田市観光案内所などでは、目的地までの公共交通機関での行き方やバスの乗り方、降り方について多く尋ねられるため、運転手さんに行き先を書いたメモを渡せるようにするなどの工夫も含めて、丁寧にわかりやすく「おもてなしの心」でご案内しております。

また、成田市観光協会のホームページ「FEEL 成田」は、日本語と英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字、タイ語の６か国語に対応しており、交通情報のページに電車やバスなどの交通手段が掲載され、各事業者のホームページのリンク先からは、さらに詳しくマナー等も含めた情報を得ていただくことができます。

更に、成田空港を発着するバスや JR・京成線など各公共交通機関の事業者では、多言語による案内表示や鉄道駅に対して、通常の駅名とは別に駅番号を付ける制度「駅ナンバリング」の導入など、外国人旅行者に、よりわかりやすい情報を提供しております。

このほか、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、受け入れ体制の

強化を図るため、成田空港会社をはじめとし、国や県、周辺市町と連携を図りながら実施している「成田空港トランジット＆ステイプログラム」では、成田空港の乗り継ぎ客や空港周辺宿泊者を対象に、成田空港から電車やバスなどの公共交通機関を利用し、空港周辺市町をボランティアガイドが同行するツアーの中で、切符の買い方やバスの乗り方なども含めた観光案内に努めているところであります。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックのボランティアとして、大会開催及びその前後の期間において、会場最寄り駅や主要駅、空港などで、旅行者や観客に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」が配置されますが、千葉県が本年 9 月中旬頃から募集を開始いたします。この「都市ボランティア」については、本市にも配置されることから、外国人観光客に快適に滞在していただけるよう、研修や運営などに取り組んでまいります。

今後につきましても、外国人観光客が公共交通機関をよりわかりやすくご利用いただけるよう、各公共交通機関事業者と連携を図りながら、対応したいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　西中学校、栗原議員。

〔西中学校　栗原議員　自席で起立〕

○栗原悠斗議員　私は、西中学校 3 年の栗原悠斗です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、東京オリンピック・パラリンピックの機会を通して成田市の PR もできるのではないかと考えます。そこで、成田市ができる PR の取り組みについて、何かお考えがあればお聞かせ下さい。

○議長（中村海晴議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　栗原悠斗議員の、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの機会を通しての成田市の PR 活動についてのご質問にお答えいたします。

オリンピック・パラリンピックは、世界最大の国際スポーツイベントであり、出場す

る選手や関係者のみならず、観客も含め国内外から多くのお客様が訪れることが見込まれます。

成田空港を擁する本市といたしましては、これを観光の魅力を発信する絶好の機会と捉え、多くのお客様にご滞在いただき、快適に観光を楽しみ、成田に良いイメージを持っていただくことでリピーターの獲得にも繋がることから、魅力ある観光情報の発信とハード・ソフトの面から受入れ環境の整備を図ることが大変重要であると認識しております。

このうち、本市の国内向けの観光情報発信の取り組みといたしましては、LCC 就航先での観光プロモーションや機内誌での PR、国内最大の旅行博である「ツーリズムエキスポ」への出展などを通じた成田のシティセールスをはじめ、春の「成田太鼓祭」や夏の「成田祇園祭」、秋の「成田伝統芸能まつり」や「弦まつり」などの一年を通した各種イベントの開催、また「成田市御案内人市川海老蔵プロジェクト」を活用した観光客誘致も行っております。

海外向けには、これまで旅行会社やメディアを対象とした視察ツアー、海外ドラマのロケ誘致や海外情報誌での情報発信のほか、成田山表参道を中心とした着物の着付けや茶道といった日本文化体験などの施策を展開してまいりました。

本市では、オリンピックのアメリカ陸上チームやパラリンピックのアイルランドチームの事前キャンプの受け入れが決定しており、海外にも及ぶ注目の高まりは、観光 PR の絶好の機会と捉えております。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、SNS などを有効活用しながら、本大会を通じて多くのお客様に成田にお越しいただけるよう、効果的かつ戦略的な観光情報の発信に努めてまいりたいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　西中学校、栗原議員。

〔西中学校　栗原議員　自席で起立〕

○栗原悠斗議員　ご答弁ありがとうございました。私は、PR によって少しでも成田市を世界の国々に知っていただけると良いと思います。また、東京オリンピック・パラリンピック開催にあたって、私たち成田市民が外国の方とのコミュニケーションを取るこ

とができる、とても良い機会なので有効活用していきたいと思います。これで、西中学校からの質問を終わります。

（午後　3時03分）

●吾妻中学校

○議長（中村海晴議員）　次に、吾妻中学校、菅野千遥議員、並びに多田登惟議員。

〔吾妻中学校　議員2名　登壇〕

○菅野千遥議員　私は、吾妻中学校3年の菅野千遥です。成田市が行っている空き家増加への対策についてお伺いいたします。

私は、成田市内で空き家が目につくと感じています。調べてみると、高齢者世帯の増加に伴って、空き家も増加傾向にあることがわかりました。それに伴い、空き家に関する相談や苦情の件数がここ5年で急増していることがわかりました。

成田市では、空き家バンクを設立されましたが、その制度と現状についてお答え願います。

○議長（中村海晴議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　菅野千遥議員の、空き家バンクの制度と現状についてのご質問にお答えいたします。

まず、現在の成田市の空き家の状況ですが、本市に寄せられた空き家に関する相談件数は、議員ご指摘のとおり、平成28年度まで増加傾向にありました。

その内容としましては、空き家の適正な管理が行われていないことによる草木の繁茂が大半を占めております。

また、空き家が発生する原因としましては、建物の相続が完了していないこと、道路が狭いことから建物の増改築ができないこと、さらに、所有者が高齢者世帯である場合では、体力や気力などの衰退により、適正な管理ができないことが考えられます。

このようなことから、新たな空き家の発生を防ぐため、成田市空家等対策計画を策定

し、その計画の中で、空き家等の利活用を促進するため、平成 29 年度に、空き家バンク制度を設けることといたしました。

空き家バンク制度とは、市がホームページなどを活用して、空き家物件に関する情報を、市民をはじめ多くの方に紹介する仕組みのことです。

また、空き家バンクの利用者は、市が提供するサービスであるという安心感があり、市民はもとより、遠隔地に住んでいる人にとっても、移住先にどのような利用可能な物件があるのかを、あらかじめ知ることができます。

次に、本年６月１日に運用を開始した空き家バンクの現状でございますが、空き家物件の登録は現在ありませんが、空き家物件が登録されましたら活用したいとの利用登録者は３名です。

今後も、市のホームページや「広報なりた」により、空き家バンクの利用啓発に取り組んでまいります。

○議長（中村海晴議員）　吾妻中学校、多田議員。

〔吾妻中学校　多田議員　自席で起立〕

○多田登惟議員　ご答弁ありがとうございました。私は、吾妻中学校３年の多田登惟です。質問を続けます。

私は、空き家について調べていたところ、適切な管理がされておらず、空き家バンク等で活用が難しい空き家があることを知りました。

そこで、成田市としては、周辺の生活環境の保全を図るとともに、放置されているこの特定空き家を今後どのようにして対処していくのか、また、そういった空き家を増やさないためにどのような対策を考えているのか、お答え願います。

○議長（中村海晴議員）　後藤土木部長。

〔土木部長　後藤行也　自席で起立〕

○土木部長（後藤行也）　多田登惟議員の、放置されている特定空き家の今後の対処と空き家を増やさない対策についてのご質問にお答えいたします。

まず、放置されている特定空き家への今後の対処についてでございますが、市内には

適正な管理がなされておらず、倒壊の恐れや、衛生面及び防犯上好ましくない特定空き家と判断された建物は、現在のところ確認されておりません。

特定空き家に至るような適正に管理がされていない建物を生じさせない対策としまして、市では、定期的にパトロールを実施するとともに、地域住民からの通報があった際には、その建物を確認したうえで所有者を調査し適正な処置を行うよう指導と助言をしているところでございます。

また、特定空き家になる可能性がある建物が確認された際には、建物の所有者に対し早期に修繕や除去を行うよう指導や助言を行いますが、改善されない場合につきましては、より強制力がある命令という手続きを行います。

それでも命令に従わない場合には、市が所有者に代わって建築物の取り壊しを行い、その費用を所有者に請求するという行政代執行という手続を行います。これにつきましては、成田市空家等対策計画に定めております。

本市といたしましては、今後も特定空き家が発生しない様、ホームページや「広報なりた」により、適正な管理と空き家バンクの活用について啓発を図ってまいります。

○議長（中村海晴議員）　吾妻中学校、多田議員。

〔吾妻中学校　多田議員　自席で起立〕

○多田登惟議員　ご答弁ありがとうございました。現時点で、成田市には特定空き家と判断される建物は確認されていないことを知りとても安心しました。また、成田市としても今後を見越して特定空き家への対策方針を固められているのだとわかりました。このまま成田市に危険と判断されるような建物が増えないよう、空き家バンク等を活用して住みよい成田市になっていくことを期待しています。そして、わたしたち若い世代も成田に来た人に、成田市に来てよかったと思っていただけるようなまちづくりに貢献していきたいと思います。また、住んでいる人も安心して暮らせるようにしていきたいです。本日は、大変お忙しい中ありがとうございました。以上で、吾妻中学校からの質問を終わります。

（午後　3時11分）

●成田中学校

○議長（中村海晴議員）　次に、成田中学校、加藤真桜議員、並びに鈴木七彩議員。

〔成田中学校　議員２名　登壇〕

○加藤真桜議員　私は、成田中学校３年加藤真桜です。成田市が行っている児童・生徒の登下校時の安全対策についてお伺いいたします。

今年の５月に、新潟県で下校途中の小学生が命を奪われるという大変痛ましい事件が起こりました。登下校中の子どもが凶悪犯罪の犠牲となる事件は過去にも起きていて、昨年の３月には松戸市の小学生が登校時に命を奪われています。

平成 27 年度文部科学省の学校安全の推進に関する計画にかかる取組状況調査によると、全国の小学校 20,015 校のうち保護者らによる見守りが実施されているのは 17,895 校と、全体の 89.4 パーセントとなっています。成田市でも保護者の方々が見守りを実施してくださっていますが、大人が見守りを強化しても、不審者は監視の目が届かない場所を探し出すため、限界があると思います。

そこでお伺いいたします。現在成田市では、児童・生徒の登下校時の安全確保についてどのような対策を取っているか、お答え願います。

○議長（中村海晴議員）　関川教育長。

〔教育長　関川義雄　登壇〕

○教育長（関川義雄）　加藤真桜議員の、児童・生徒の登下校時の安全確保の取り組みについてのご質問にお答えいたします。

本市では、小学校１年生に対し、黄色い帽子やランドセルカバーを配付し、これらを身に付けることにより、車両運転者に注意を促すとともに、毎週木曜日には、児童の一斉下校に合わせて防災行政無線により地域の方の見守りを呼びかける放送を行い、児童生徒の安全を守るための啓発を行っております。また、不審者に遭遇した場合などの緊急時に備え、全学年の希望する児童生徒に対し、防犯ブザーを無償で貸与しております。

さらに、本市では、学校安全に携わる関係機関や庁内関係各課で構成する「成田市通学路安全推進連絡協議会」を設置しており、継続的に通学路の安全を確保するため、学

校や PTA からの危険個所の抽出を基に合同点検や対策の検討を行い、改善に努めております。

また、防犯活動につきましては、青色回転灯装備車が下校時に毎日地域の防犯パトロールを行い、児童生徒の見守りのみならず、地域防犯に大きな役割を果たしております。

各学校においても、PTA や地域ボランティアと連携し、定期的に学校や地域の実情に合わせた形で見守りを行うとともに、児童の集団下校や生徒の複数人数での下校の呼びかけをしております。

教育委員会といたしましては、登下校時の安全確保に向けて、引き続き警察等の関係機関や、各学校と連携して取り組むとともに、今後も安全教育を推進し、児童生徒の事故防止に努めてまいります。

○議長（中村海晴議員）　成田中学校、鈴木議員。

〔成田中学校　鈴木議員　自席で起立〕

○鈴木七彩議員　私は、成田中学校 2 年の鈴木七彩です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、子どもたちを不審者から守るために、子どもたちに不審者がどんな場所で近づいてくるのかを教え、警戒する力を養うことも必要であると考えておりますが、市としてどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（中村海晴議員）　宮﨑教育部長。

〔教育部長　宮﨑由紀男　自席で起立〕

○教育部長（宮﨑由紀男）　鈴木七彩議員の、不審者から身を守る力を養う教育についてのご質問にお答えいたします。

市に寄せられた不審者に関する情報をもとに、メール配信や学校を通して児童生徒に伝え、不審者がどんな場所で近づいてくるのか、またどのような行動をとるのかについて、注意喚起を行うとともに、各学校では、児童生徒自身が危険を予測できるように、人通りの少ない場所や死角になる場所、空き家や公衆トイレなどの入りやすく見えにくい場所を示した地域防犯マップの作成・活用などに取り組んでおります。

また、子どもが犯罪に巻き込まれないための約束事として、ついていかないの「いか」、車に乗らないの「の」、大声を出すの「お」、すぐ逃げるの「す」、知らせるの「し」の一部分の文字を組み合せた「いかのおすし」という防犯標語や、「子ども110番の家」の利用方法、歩行時の注意点などを、児童生徒の発達段階に応じて伝え、緊急時の対処方法を事前に学ぶことによって、警戒する力を養っております。

今後におきましても、登下校時の安全確保につきましては、引き続き、不審者に対する児童生徒自身の危険予測能力、危険回避能力を具体的な事例を通して育成してまいりたいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　成田中学校、鈴木議員。

〔成田中学校　鈴木議員　自席で起立〕

○鈴木七彩議員　ご答弁ありがとうございました。お話をお聴きし、成田市も児童・生徒の安全な登下校についての細かな対策が行われていることが良くわかりました。これからも安心して学校に通えるようになれば、落ち着いて学習にも取り組め、自分の持てる力を十分発揮できるのではないかと考えます。私は将来、医療関係の仕事に就きたいと思っています。安全な環境のもとで夢の実現に向けて今後も日々努力していきたいと思います。これで、成田中学校からの質問を終わります。

（午後　3時19分）

●公津の杜中学校

○議長（中村海晴議員）　次に、公津の杜中学校、山中萌百議員、並びに上林万葉議員。

〔公津の杜中学校　議員2名　登壇〕

○山中萌百議員　私は、公津の杜中学校2年の山中萌百です。成田空港周辺の機能強化について伺います。

私は、新聞で成田空港では新しい滑走路、C滑走路が建設されるなど、空港の機能強化についての記事を読みました。私は、新しい滑走路ができるということは、空港と共に発展してきた成田市にとってもプラスになると思います。しかしその一方では、新し

い滑走路を造るということは、その用地が必要であり、今そこに住んでいる人たちの土地や、そこで仕事をしている人たちの場所を使って滑走路を造るということだと思いました。また、B 滑走路についても北側に延長するとのことで、その用地の確保にあたっても、同じことが起きると感じました。これらの土地に住んでいる方々の多くは、現在でも騒音などで大変な思いをされていることと思います。今後、空港の機能強化の計画が進んでいく中で、移転をすることとなる地区や、騒音地域のエリアが拡大されることにより影響を受ける地域の方々からは、どのような意見や要望が成田市に出されているのかお伺いします。

○議長（中村海晴議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　山中萌百議員の、成田空港の機能強化に伴い影響を受ける地域の方々からの意見や要望についてのご質問にお答えいたします。

成田空港の機能強化につきましては、日本を訪れる外国人が増加していることや、韓国の仁川空港やシンガポールのチャンギ空港の躍進など、厳しさを増す空港間競争を乗り越え、アジアの経済成長を取り込み、日本の経済発展に貢献するため、新たに 3 本目の滑走路を増設するとともに B 滑走路を北側に延ばし、更に夜間の航空機の飛ぶ時間帯を拡大します。

これは、観光立国をかかげて、観光を主要な産業として積極的に発展させようとしている国の政策によるものです。また、国の予測では、2020 年代前半には増加を続ける旅客数に空港が対応できなくなる可能性が出てきたことや、大学の先生、専門家で組織される国の委員会においても、首都圏空港の更なる機能強化の必要性が示されたことから、国、千葉県、空港周辺 9 市町及び成田空港会社は、平成 27 年 9 月より、成田空港の更なる機能強化について議論を行い、本年 3 月 13 日に、国、千葉県、空港周辺 9 市町及び空港会社により組織される「成田空港に関する四者協議会」において、正式に合意されたところであります。

本市では、平成 28 年 9 月に空港会社から成田空港の更なる機能強化案が示されて以

降、約1年半にわたり、78回の住民説明会を開催し、延べ2,600人を超える方にご参加をいただきました。騒音地域にお住まいの皆様からは、機能強化の必要性に理解を示す声がある一方、航空機の離着陸回数の増加により、深夜早朝の騒音で健康に悪影響が出るのではないか、航空機からの落下物にはどのように対応するのか、騒音等により土地・建物の価値が低下するのではないか、といった不安の声が聞かれました。

また、騒音対策区域を決めるにあたっては、同じ集落の中で騒音対策に差が生じないようにしてほしい、希望者が移転できるような法律を作ってほしい、防音工事や補助金等の騒音対策をもっと充実してほしいなど、騒音地域の生活環境を良くしてほしいといった要望や、成田空港開港以降、市街地と騒音地域の二極化が進んでおり、騒音地域は人口の減少も著しいので、集落が維持できるよう地域振興に力を入れてほしい、というご意見もあり、いずれも切実な声と認識しております。

本市といたしましては、こうしたご意見やご要望を踏まえ、今回の成田空港の更なる機能強化は、騒音地域住民の生活環境の保全や地域振興策と一体的なものとして進めてまいりたいと考えております。

成田空港は、今年で開港 40 周年を迎えました。成田空港とともに成長してまいりました本市にとりまして、成田空港は雇用や経済面などから、なくてはならない存在であります。

しかしながら、成田空港は大規模な内陸空港であり、騒音・環境対策は避けて通ることができない重要な課題であることから、今後も適切かつ確実に対策を実施していくことが必要であると考えております。

公津の杜中学校のある学区は、騒音地域ではありませんが、騒音地域の抱える問題について、今後も関心を持っていただきたいと思います。

○議長（中村海晴議員）　公津の杜中学校、上林議員。

〔公津の杜中学校　上林議員　自席で起立〕

○上林万葉議員　私は、公津の杜中学校 2 年の上林万葉です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

地域や地区からの意見、要望について、もう一つ質問をさせていただきます。

市民からのいろいろな声が多く上がっていると思いますが、成田市は、これらの意見や要望を受けて、県や国、そして、成田空港株式会社へどのような働きかけをしているのか、お聞かせください。

○議長（中村海晴議員）　山田空港部長。

〔空港部長　山田明彦　自席で起立〕

○空港部長（山田明彦）　上林万葉議員の、成田空港の機能強化に係る市民からの意見や要望に対する国や県などへの働きかけについてのご質問にお答えいたします。

今回の成田空港の機能強化は、3 本目の滑走路の増設等、新たに空港を建設するのに匹敵する規模のものであり、騒音の対策区域も大きく広がることとなります。このため、本市を含む空港周辺 9 市町の市長や町長により組織される「成田空港圏自治体連絡協議会」では、本年 3 月の機能強化の合意までの間に、住民説明会において寄せられた意見・要望を踏まえ、石井国土交通大臣、森田千葉県知事、夏目成田空港会社社長への要望活動を 2 度にわたり実施いたしました。その結果、当初の案から、夜間の航空機の飛ばない時間帯の拡大や滑走路の運用方法の変更、また騒音区域の家屋の防音工事について見直しがなされたところであります。

今回の機能強化の合意に際しては、国、千葉県、空港周辺 9 市町及び空港会社は、より多くの住民の理解と協力が得られるよう、最大限の努力をするとともに、機能強化が完了するまでには長い時間がかかることから、騒音地域住民の生活環境に関する課題について、互いに協力して誠実に取り組むことを約束しております。

こうしたことから、本市といたしましても、今後も引き続き騒音地域の皆様方のご意見やご要望を伺いながら、騒音対策や環境対策の充実に向けて関係機関とともに取り組んでまいります。

○議長（中村海晴議員）　公津の杜中学校、上林議員。

〔公津の杜中学校　上林議員　自席で起立〕

○上林万葉議員　ご答弁ありがとうございました。私は、成田市民でありながら成田市

について詳しくありません。ですが、この議会を通して成田市の問題や政策を知ることができてとても勉強になりました。成田空港は、これからますます活性化され、世界中の人たちが利用する場所となることを願っています。今日、普段立ち入ることができない議場で学校の代表として参加ができたことや、このような貴重な体験ができたことをとても感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これで、公津の杜中学校からの質問を終わりにします。

（午後　3時30分）

●大栄中学校

○議長（中村海晴議員）　次に、大栄中学校、米山晃平議員、並びに髙槁僚議員。

〔大栄中学校　議員2名　登壇〕

○米山晃平議員　私は、大栄中学校3年の米山晃平です。大栄地区の小中一貫校の開校に伴い閉校となる小学校の活用について、お伺いします。

近年、少子化による児童生徒数の減少などにより、統廃合または、閉校になる学校が増えています。全国には、閉校となった学校をリノベーションして、道の駅や宿泊施設等の交流施設や、レストラン、体験型アミューズメントなど、観光スポットとして町おこしの役割を果たしていると、テレビで見たことがあります。私は、自分が通っていた小学校が閉校になると聞いて、さみしさを感じる反面、地域住民のために有効活用してほしいと思っています。

そこで、お伺いします。大栄地区の閉校予定である5校の活用方法について、成田市のお考えを回答願います。

○議長（中村海晴議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　米山晃平議員の、大栄地区の閉校となる小学校跡地の活用についてのご質問にお答えいたします。

まず、大栄地区を含む市内の一部小中学校につきましては、将来的に学区内の児童、

生徒数の減少が予想されることなどから、教育委員会では平成 20 年 3 月に学校適正配置の基本方針を策定しました。その後、大栄地区の小学校につきましては、地域の意向を踏まえた統廃合案をお示ししたところ、地区区長会の同意を得たことから、新たな小中一貫教育校である「（仮称）大栄みらい学園」として平成 33 年 4 月の開校を目指し、準備を進めております。

学校跡地の利活用につきましては、平成 24 年 12 月に策定しました「学校跡地利用基本方針」における、全市的な行政需要への対応、地域ニーズを踏まえた活用、民間事業者の活用など、その基本的な考え方に基づきまして検討を進めております。

これまで閉校となりました小中学校の跡地利活用状況でありますが、旧豊住中学校は、昨年 4 月より、健康づくりや体力づくりなどを支援する「豊住ふれあい健康館」として、旧名木小学校は、昨年 5 月より障がい者通所施設として活用しております。

また、今後の予定といたしましては、旧中郷小学校は、地域コミュニティの維持や地域活動を支援するコミュニティ拠点施設として、旧久住第二小学校は、海外旅行者や訪日観光客等を対象とした、低価格で宿泊できるゲストハウスとして、更に、旧東小学校は、公式大会が開催できる公認コースのパークゴルフ場として整備を予定しております。

ご質問の大栄地区の閉校予定である 5 つの小学校の跡地利活用策につきましては、現在のところ具体的な活用案を決定しておりませんが、先ほど申し上げましたとおり、「学校跡地利用基本方針」に基づき、地域の皆様と協議させていただき、より良い利活用方法を検討してまいりたいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　大栄中学校、髙槁議員。

〔大栄中学校　髙槁議員　自席で起立〕

○髙槁僚議員　私は、大栄中学校 3 年の髙槁僚です。ご答弁ありがとうございます。

私も、自分の母校を是非有効活用してほしいと思っています。大栄地区では、一度に 5 校もの小学校が閉校となります。今後、利用に伴い、小学校施設を解体したり、修繕したりするなど、多額の費用が伴うと予想されます。そこで、費用をどのように確保するのか、また活用までに、具体的にどの程度の期間を想定しているのか、お答え願いま

す。

○議長（中村海晴議員）　宮田企画政策部長。

〔企画政策部長　宮田洋一　自席で起立〕

○企画政策部長（宮田洋一）　髙橋僚議員の、小学校施設の利用に伴う費用の確保と活用までの期間についてのご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、大栄地区では一度に5校もの小学校が閉校となり、その利活用には多額の費用がかかってくることが想定されますので、市が直接利活用するほか、民間事業者による活用につきましても、検討してまいりたいと考えております。

また、活用までの期間についてでございますが、学校は、これまで地域コミュニティの中心的な役割を担ってきており、地域の皆様の思い入れが大変強い施設であります。そのため、跡地の利活用方針の決定につきましては、地域の皆様への丁寧な説明や協議が必要であると認識しておりますことから、ある程度の期間を要すると考えております。

いずれにしましても、大栄地区における小学校の跡地利用につきましては、地域の皆様の意向やニーズ等に十分配慮した上で、取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（中村海晴議員）　大栄中学校、髙橋議員。

〔大栄中学校　髙橋議員　自席で起立〕

○髙橋僚議員　ご答弁ありがとうございます。本日は、この機会を通して大栄地区だけのことだけでなく、成田市全体を含めた政策や取り組みについて知ることができ、これまで以上に成田市に対する関心を高めることができました。また、各学校の質問に対しての成田市の意見を知ることができ、私にとって大変有意義な時間になりました。成田市は海外とつながる空港や大都市とつながる鉄道があります。また、2年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そこで成田市は海外からの訪問客がたくさんいらっしゃるので、成田市は大栄地区を含めた他の地域との連携が必要になってきます。現在大栄地区では、中学校が3クラスから2クラスに減ってきています。また、高校進学や大学進学に伴い多くの人が大栄地区を離れて行ってしまいます。私も大学進学や就職などで県外そして成田市外に出てしまうかもしれません。

ですが、また大栄地区に戻ってきたいと思っています。これからも成田市全域が連携して活性化していってほしいです。本日は、この場で成田市の未来を考えられるこの場にいられたことを大変誇りに思っています。本日は、ありがとうございました。

○議長（中村海晴議員）　これで、各中学校の代表質問を終わります。

（午後　3時39分）

◎市長の講評

○議長（中村海晴議員）　ここで、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）

中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。今議会、全ての答弁が終了いたしましたので、最後に私から「講評」を申し上げます。

本日、皆さんからいただいた質問は、成田市が直面している重要課題をはじめ、市民生活に密着したもの、皆さんの中学校生活を実りあるものとするための提案、そして、国際空港を擁している、成田市だからこそ感じられる外国人や市外から訪れる観光客の視点にたった質問など、本当にすばらしい質問であったと思います。そして皆さんが本当に成田が好きだ、成田を愛している、だからこそ、この成田を良くしたいんだという、そういった気持ちが伝わり、大変うれしく、また心強く思っております。それだけに私や教育長、また、各部の部長も全力で答弁をさせていただきました。

皆さんからいただいた貴重な質問、また提言は、私のモットーとしております『“住んでよし　働いてよし、訪れてよし”の生涯を完結できる空の港まちづくり』に、そして、今後の成田市の発展に、大いに役立ててまいりたいと思います。

また本日、皆さんには質問あるいは提言・意見を述べるとともに、他の中学生議員の質問・提言・意見にも耳を傾け、市からの様々な答弁をいただき、見聞が広がったこと

と思います。どうか本日の経験を、友達やご家族、また通っている中学校の生徒の皆さんに、伝えていただきたいと思います。そして、これからも、成田市が住みやすいまちとなるよう、皆さんと一緒に考えることができれば、大変嬉しく思います。

結びにあたりまして、本日傍聴をしていただきました保護者の皆様、そして学校関係者の皆様、議員各位に感謝を申し上げ、中学生の皆さんの輝く未来に栄光あれ、ということで講評とさせていただきます。本日は本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

（午後　3 時 43 分）

◎議会の閉会

○議長（中村海晴議員）　これをもって、今、議会の日程は終了いたしました。以上をもちまして、平成 30 年度 成田市中学生議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（午後　3 時 43 分）